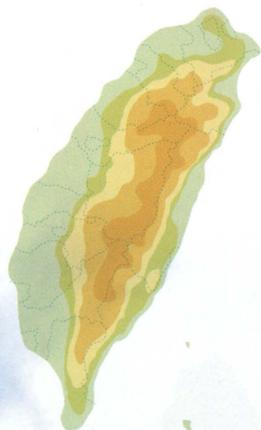


\ 3週間限定!! /  
大ヒットにつき  
アンコール上映  
決定!!

ドキュメンタリー映画

# 台湾 アイデンティティー



『台湾人生』  
酒井充子  
監督作品

かつて日本人だった人たちが語る

それぞれの人生

彼らが求めた居場所とは

戦後70年の道のり

台湾、ジャカルタ、そして横浜へ



監督:酒井充子 製作総指揮:菊池篤人/小林三四郎 企画:片倉佳史 プロデューサー:植草信和/小関智和 ナレーター:東地宏樹 撮影:松根広隆 音楽:廣木光一 編集:糟谷富美夫  
協力:シネマ・サウンド・ワークス 大沢事務所 製作:マクザム/太秦 助成:文化芸術振興費補助金 配給:太秦 2013年/日本/カラー/HD/102分 ©2013マクザム/太秦 [www.u-piccc.com/taiwanidentity](http://www.u-piccc.com/taiwanidentity)

東日本大震災の際、台湾からは200億円を超える義援金が寄せられ、翌年の2012年には日本から過去最高の約144万人が台湾を訪れた。台湾を訪れる人の多くが台湾に日本の面影を見るとき。その理由はどこにあるのだろうか？

台湾は1895年(明治28年)から1945年(昭和20年)までの半世紀、日本の統治下にあった。日本語で教育を受けた「日本語世代」といわれる老人たちは、単に日本語を話すだけでなく、日本人として生きていた。敗戦により日本が去った後、蒋介石・中華民国国民党政権による言論統制と弾圧の時代が長く続き、国民の声は封殺される。民主化が本格化したのは1992年(平成4年)、当時の李登輝総統が治安法を改正し、言論の自由が認められてからのこと。それからまだ20数年しか経っていない。しかし戦後70年近く、彼ら「日本語世代」の声は年々失われつつある。本作は舞台を台湾、ジャカルタ、そして横浜へ移しながら、市井の老人たちの人生に寄り添う。彼らが自らの体験を語るとき、私たちに問いかけることは――。



監督は2002年から台湾での取材を始め、初監督ドキュメンタリー『台湾人生』(09)で「日本語世代」へのインタビューを通して日本と台湾の解けない関係性を描き出し、劇場ロングラン・ヒットを記録した酒井充子。『台湾人生』の劇場公開を経て得た新たな出会い、発見を糧に膨れ上がった台湾への語り尽くせない想いが本作へとつながった。またひとつ、忘れてはいけない歴史が刻まれた。



**高菊花さん** 日本名: 矢多喜久子  
ツォウ族名: バイツ・ヤタウヨガナ

**白色テロによって  
父親を奪われた人**

1932年(昭和7年)生まれ。ツォウ族のリーダーだった高一生の長女。日本人と同じ小学校に通い、師範学校に学ぶ。米留学準備中に父が逮捕、処刑。家族の生活を支えるため歌手になる。



**黄茂己さん** 日本名: 春田茂正

**「本当の民主主義とは何か」  
子供たちに伝え続けた人**

1923年(大正12年)生まれ。台湾少年工の一員として神奈川県の高座海軍工廠へ。挺身隊員だった妻と知り合い、敗戦直後に日本で結婚。台湾帰国後は小学校教員として定年まで勤めた。



**宮原永治さん** 台湾名: 李柏青  
インドネシア名: ウマル・ハルトノ

**日本の敗戦で  
台湾に戻れなかった人**

1922年(大正11年)生まれ。戦場を転々と、戦後にインドネシア国籍を取得した残留日本兵のひとり。オランダからの独立戦争を戦った。日本企業のジャカルタ支社に就職。



**呉正男さん** 日本名: 大山正男

**シベリア抑留のおかげで  
死なずに済んだと言う人**

1927年(昭和2年)生まれ。横浜市在住。東京の中学に進学し、航空通信士として現在の北朝鮮で敗戦をむかえる。捕虜収容所での強制労働の後、日本へ戻り進学・就職。



**張幹男さん** 日本名: 高木幹男

**青春の8年間を監獄で  
過ごさねばならなかった人**

1930年(昭和5年)、台湾人の父と日本人の母の間に生まれる。台湾独立派の日本語の冊子を翻訳しようとして「反乱罪」で逮捕。現在、旅行会社の会長。

日本が台湾を去ったあと、  
彼らは時代のうねりに翻弄された。  
教科書には載らない  
ほんとうの歴史がそこにある。

**日本統治後の台湾を知るための用語解説**

**二二八事件**

1947年2月27日、台北市で発生した閩煙草の摘発による混乱をきっかけに、翌28日以降、本省人(台湾人)と外省人(在台中国人)との抗争が台湾全土に拡大した。政府関連施設への抗議行動や中国人に対する襲撃事件が頻発したが、国民党政府は武力により鎮圧した。

**白色テロ**

革命運動や民主化運動などの反体制活動に対する為政者の弾圧行為、また、強権的警察行為や言論弾圧をさす。国民党政府により1949年から1987年まで38年間にわたる戒厳令が敷かれ、数多くの人々が言われなき罪で逮捕、拘禁、拷問、銃殺された。

監督: 酒井充子 製作総指揮: 菊池苗人 / 小林三四郎 企画: 片倉佳史 プロデューサー: 植草信和 / 小関智和 ナレーター: 東地宏樹 撮影: 松根広隆 音楽: 廣木光一 編集: 糟谷富美夫  
協力: シネマ・サウンド・ワークス・大沢事務所 製作: マクザム・太素 助成: 文化芸術振興費補助金 配給: 太素 2013年、日本、カラー、HD、102分 ©2013マクザム・太素 www.u-picc.com/taiwanidentity

**9/14(土)~10/4(金)**  
10:20 1日1回上映

※酒井監督による舞台挨拶を予定  
9/14(土)、23(月・祝)、28(土)、10/4(金)上映後

**ポレポレ東中野**

TEL 03 3371 0088  
www.mmjp.or.jp/pole2/  
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分  
地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

山手通り  
地下鉄大江戸線 A1出口  
ポレポレビル 地下  
JR東中野  
中野 新宿